

資産運用の状況について

1. 資産運用の目的

長期的な視点から許容し得るリスクの範囲内で安全・確実な運用収益の獲得を目指すことで、内部留保(特定資産・奨学基金)を拡大し、健全な財政基盤を確立することを目的としています。

2. 資産運用の方法

現在は、すべて個別債券で運用しています。2017 年度からは、金利面で有利な外貨建(米ドル、豪ドル)の長期債に投資することによって収益を確保し、為替リスクの低減を図っています。また、投資による社会貢献活動の一環として、ESG 債への投資を行っており、投資リターンを確保しながら持続可能な社会づくりに貢献しています。

※ESG 債：一般に環境改善や社会貢献に何らかの効果のある事業を資金使途とする債券をいう。

ESG は、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取った言葉です。

3. 2025 年度の資産運用

日銀の金融政策により、保有中の国内債の時価が下落し、一部で評価損を計上しました。本学園の資産運用は、安定的なキャッシュフローを生み出すことを第一義とし、価格変動は許容できることから、現段階で途中売却(損切り)は行わないこととしました。なお、保有中債券の発行体格付はすべて A 格以上を有しており、信用リスクは十分に確保されています。

また、2027 年度の学部設置に係る資金(校舎建設費など)を確保するため、債券を売却して預金を増やしました。この取引で売却益を得られたこともあり、運用収益は近年で高い水準となりました。

運用資産合計は前年度から 20 億円減少していますが、不動産取得に係る支払いと、有価証券の減損が主たる要因となっています。

運用資産保有額・運用収益・利回り(各年度末日)

(単位：百万円)

年度/種別	預金	円貨建債券	外貨建債券	運用資産合計	運用収益	全体利回り	債券利回り
2021	1,468	10,208	1,794	13,470	250	1.84%	2.17%
2022	1,511	10,306	1,686	13,503	272	1.97%	2.32%
2023	2,323	10,327	1,686	14,336	245	1.73%	2.00%
2024	2,442	10,026	1,988	14,456	257	1.73%	2.11%
2025	3,476	6,988	1,988	12,452	298	2.11%	2.43%

※運用収益は各年度のキャッシュフローで表示した

運用資産保有額・資産別割合・利回り(各年度末日)

